

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2019年8月下旬刊行

吉野作造と関東軍

—満蒙権益をめぐる民本主義と統帥権の相克—

藤村一郎・後藤啓倫 著

四六判・ハードカバー・320ページ 本体価格 2,600円

軍隊へのシビリアン・コントロールはいかにあるべきか？

統帥権の独立により独自の政策を展開した関東軍と、民本主義の立場からそれを批判した政治学者・吉野作造との攻防を描き、満洲事変への道を再考する。

(目次)

- はじめに 吉野作造と関東軍
- 第一章 日露戦争期から第一次世界大戦まで
- 第二章 第一次世界大戦末の対中国政策とシベリア出兵
- 第三章 ワシントン会議
- 第四章 奉天軍閥の危機
- 第五章 国民革命期の対満蒙政策
- 第六章 満洲事変
- おわりに 「デモクラシー」と軍部

〈著者紹介〉

藤村一郎 (ふじむら いちろう)：鹿児島大学総合教育機構准教授、日本近代政治思想史専攻

後藤啓倫 (ごとう ひろみち)：九州大学大学院法学研究院協力研究員、日本近代政治・軍事史専攻

～版元から～ 戦前日本は、軍の外交容喙による権力の分裂という問題を抱えていました。シビリアン・コントロールのほころびが見え、外国駐留軍が存在する現代日本は、これを過去の話として片付けられないのではないのでしょうか。本書は、外地駐留軍としての関東軍とその問題点を追及する政治学者・吉野作造を共に追いかけ、近代日本を変えた満洲事変への道を再検討します。両者の国際秩序構想などを中心に、「大正デモクラシー」をペンで牽引した吉野と剣の力で時代を動かそうとした関東軍との攻防を描き出します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	吉野作造と関東軍 —満蒙権益をめぐる民本主義と統帥権の相克— 藤村一郎・後藤啓倫 著	日本史（近代）
	ご担当	四六判・ハードカバー、320ページ 本体価格 2,600円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN 978-4-908672-32-3 C1021	

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230